



「あきらめない」

校長 嶋田 一郎

今年の夏はリオオリンピック一色だった。私が今回特に感じたのは「あきらめない」ということだった。女子レスリングの48kg級の登坂絵莉選手の決勝、58kg級の伊調馨選手の決勝ともに残り10秒というところで逆転勝利を得た。最後の最後まで手に汗握る展開のなかでみせた、大逆転劇だった。途中まで一進一退を繰り返したが、最後まであきらめなかった。そのことが勝利へとつながった。

体操男子団体も予選4位と出遅れたが、残り2種目目でやっとロシアに追いつき逆転した。諫早市出身の内村航平選手は4年前のロンドンオリンピックで、体操男子団体で金を逃した。そのときの悔しさは誰よりも強く、「団体で金」に懸ける執念も練習量も、誰ひとり及ばなかったという。あきらめない気持ちがつよかった。

他にも、ウサイン・ボルト選手や卓球の愛ちゃん、シンクロナイズドスイミングの井村雅代監督など、みんな「妥協しない、信念を曲げない人」である。

ところで、3年生は、これから進路に向けての戦いが始まる。苦しいことがあるかもしれないが、最後まであきらめないで欲しい。努力はいつか報われる。努力を続ける人の所にこそ幸運は訪れる。そのように私は信じている。また、1年生、2年生は将来に備えて、勉強に、部活動に打ち込んでもらいたい。「あせらず、あわてず、あきらめず」最後の最後まで望みを下げずに頑張ってください。

新任紹介 — 野球部新監督に新川 剛先生が就任

8月1日(月)、前任の左海道久先生の後任として、野球部の新監督に、新川 剛先生(体育科)をお迎えしました。以下に、新川先生からのメッセージを紹介します。

はじめまして、新川 剛と申します。福岡からやってきました。佐世保は、大学生の時に4年間住んでいましたのでよく馴染み深く、第二の故郷と思っています。本校は、広いグラウンド、体育館、きれいな校舎があり、勉強や部活動をするのに素晴らしい環境だと思います。全力で頑張りますので、よろしくお願いいたします。



「就職・進学合宿」で、進路決定に向けて意識高まる!

7月25日(月)~28日(木)までの4日間、外部講師を招いて、「就職・進学合宿」を開催しました。この期間、「基礎学力の定着」・「試験対応の面接・作文指導」・「社会人としてのマナー・エチケット」等の指導を行いました。社会人としての必要なスキルを身に付けるための実践指導です。

1・2年生は、今後のために家庭学習を習慣化し、学力の向上に努めてください。

また、進路指導部では、関東・中京・関西・中国・九州・県内・市内地区の企業訪問を行いました。世界的な経済や為替レートの動きなど、様々な経済状況のなか、東京オリンピック効果をはじめとした景気上昇の動きもありました。訪問先の人事担当者からは、採用条件として以下のようなことがポイントと伺っています。

- (1) 欠席をしない生徒(特別な理由を除く)
- (2) 元気ある挨拶ができ、コミュニケーション能力が身につけている生徒
- (3) 前向きに仕事に取り組み、長く続ける覚悟のある生徒



平成28年度「第2回オープンスクール」を開催

8月5日(金)、第2回オープンスクールを開催しました。

今回は、中学生71名、保護者・引率の先生30名の合計101名の参加を得て、各科の模擬授業や部活動等を体験していただきました。

各科・各部活動の体験内容に対し、真剣に取り組んでいる中学生の姿がとても印象的でした。

次回、「第3回オープンスクール」は、10月1日(土)に予定しています。



8月9日、「平和学習」で命の尊さについて考える

8月9日(火)、NPO法人「佐世保空襲を語り継ぐ会」の牛島万紀子さんを講師として招聘し、平和学習会を実施しました。佐世保空襲の記録を綴った「火の雨」という本から、本校生徒と同世代の子どもたちのお話をいただきました。

以下に、講話後に生徒が書いた感想文の中から1つを御紹介します。

「今回の講話を聞いて、改めて戦争の恐ろしさを知ることができました。今の世の中の大半の人は戦争を経験しておらず、実際に経験しておられる方が少なくなっているという現実を受け止めて、こういう日を大切にしなければいけないと思いました。そして、今日聞いた話をこれからの世代につなげていけたらいいと思います」(3年生男子)

今回の平和学習をとおして、ひとりでも多くの生徒が平和や命の尊さについて考え、行動できる人になってくれることを願っています。